

2020度 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



一般社団法人CSV開発機構

1. 法人概要	P 2
2. 年間活動一覧	P 5
3. 主要活動	P 9
全体セッション	P 9
分科会	P13
実証事業	P23

1. 法人概要

一般社団法人CSV開発機構の設立の趣旨と目的

一般社団法人CSV開発機構は、CSVをテーマとした「地域の公益と企業益を両立させるCSVサーベイランス研究会」、その産官学連携での発展形である「CSVサーベイランスネットワーク」での活動を踏まえ、CSVによる事業創造・社会課題の解決に向けて本格的な活動を推進するために発足した法人です。

私たちCSV開発機構は、高齢化対応・地域の活性化などの社会課題、気候変動などの環境問題など、さまざまな社会・環境課題を抱える現代社会において、企業がCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）やISO26000の理念を踏まえつつ、本来の事業展開力を活かした新しいビジネスモデルによって、より良い社会、持続可能な未来を創造していくというCSVを事業化することを目的としています。

新たな価値観に基づく社会の創出や、生活者のQOLの向上を目指し、産官学民の連携による新しいビジネスモデルの構築とその事業化に向け、プラットフォームとなり、アライアンスパートナーの構築やオープンイノベーション推進など、総合的なご支援いたします。

役員（2020年6月1日現在）

理事長	赤池 学		
副理事長	水上 武彦		
専務理事	小寺 徹		
理 事	池田 伸之（株式会社ジェイティービー）	加藤 薫（ヤマハ発動機株式会社）	
	加藤 悟郎（株式会社乃村工藝社）	金井 智（日本ユニシス株式会社）	
	長谷部 直人（東京書籍株式会社）	森田 俊作（大和リース株式会社）	
事務局長	石井 玲子		
監 事	杉本 貴一（住友林業株式会社）		
顧 問	渋谷 寿一		

1. 法人概要

会員（2020年8月3日現在）

（一般会員）

コドモエナジー株式会社

株式会社GCMスクエアード

株式会社 J T B

株式会社鈴三材木店

株式会社竹中工務店

株式会社DGコミュニケーションズ

東京書籍株式会社

日揮グローバル株式会社

農林中央金庫

ブルー・ブリッジ・パートナーズ株式会社

株式会社ワイス・ワイス

株式会社サーベイリサーチセンター

株式会社ジェイアール東日本企画

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

住友林業株式会社

大和リース株式会社

株式会社電通

株式会社富山

日本ユニシス株式会社

株式会社乃村工藝社

ヤマハ発動機株式会社

特定非営利活動法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト

（特別会員）

青森県庁

弘前市

静岡市

浜松市

名古屋市（東京事務所）

大阪府（公民戦略連携デスク）

千葉商科大学

大東文化大学経営研究所

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

事業内容

- ① CSVによる社会課題解決を進めるために必要なビジネスモデル開発を支援する事業
- ② CSVによる社会課題解決を進めるために必要な政策提言を行う事業
- ③ CSVに関わる調査研究事業
- ④ CSVに関わるコンサルティング事業
- ⑤ CSVに関わる受託事業
- ⑥ CSVによる解決を必要とする社会課題の収集を行う事業
- ⑦ CSVによる社会課題解決を進めるために必要なネットワークを構築する事業
- ⑧ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な普及、啓発、交流を行う事業
- ⑨ CSVによる社会課題解決を進めるために必要な情報収集・発信を行う事業
- ⑩ その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

2020年

- 04月 * 緊急事態宣言が発出されたため、すべての行事を中止・延期しました。
 * テレワークを基本とし、会議・打合せ用に「Teams・Zoom」を導入しました。
- 05月 **[機構運営]** 理事会（15日） * WEB開催
 [機構運営] 定時社員総会及び理事会（27日） * WEB
- 06月 **[官民連携]** 新潟SDGs事業構想（26日）
 [講演] 村上市山北地域地域活性化講演会（赤池理事長）（27日）
 [官民連携] 村上市山北地域視察会（28日）
 [官民連携] 福島県矢祭町関係人口事業検討会（29日）
- 07月 **[官民連携]** 森林・古民家活用視察勉強会（25日）
- 08月 **[セッション]** 第1回全体セッション 「森林を活用した新産業のシンボル事業創出」（6日）
 [官民連携] 静岡市xCSV 森林活用ビジネス創出会議（20日）
 [官民連携] 小田原市x川崎市xCSV 木材利用促進フォーラム連携会議（26日）
 [官民連携] 鮫川村森林活用会議（31日）
 [メディア] 宣伝会議執筆（水上副理事長）

2. 年間活動一覧

09月	[講演]	村上市山北地域地域活性化講演会（小寺専務理事）（6日）
	[セッション]	森林活用分科会 「地域課題の共有・異業種コラボ」（11日）＊WEB
	[機構運営]	理事会（15日）＊WEB
	[官民連携]	福井県関係人口セミナー（26日）＊WEB
10月	[官民連携]	川崎市木材利用フォーラム行政部会（7日）＊WEB
	[セッション]	森林活用分科会 「地域選定・事業の具体化」（9日）＊WEB
	[官民連携]	鮫川村森林計測実地踏査（12日）
	[官民連携]	矢祭町コミュニティカ事業 地域伝統食試食会（12日）
11月	[官民連携]	矢祭ファンミーティングロケハン＆収穫体験（2日-3日）
	[官民連携]	大船渡市役所プロジェクト打合せ（15日-16日）
	[セッション]	森林活用分科会「森林を活用した新産業のシンボル事業創出」（13日）＊WEB
	[官民連携]	「森の恵みに出会う旅in小田原」ツアー 共催：川崎市（14日）
	[官民連携]	矢祭ファンミーティング in KITTE（15日）
	[官民連携]	紀州材産地見学会 川崎市・和歌山県連携事業（19日-20日）
	[機構運営]	理事会（24日）＊WEB

2. 年間活動一覧

12月	[官民連携]	鮫川村森林計測 ヤマハ発動機協働（1日）
	[セッション]	森林活用分科会 「グリーンインフラ整備等を想定した産業創出」（4日）＊WEB
	[官民連携]	矢祭町新団体設立勉強会（小寺専務理事）（7日）
	[官民連携]	水郡線全線復旧に向けた地域活性化策打合せ JR東日本協働（14日）＊WEB
	[官民連携]	森林分科会 鮫川村PJT 事業打合せ ヤマハ発動機協働（18日）
	[講演]	群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会（水上副理事長） （21日）＊WEB
	[機構運営]	未来まちづくりフォーラムインタビュー（小寺専務理事）（22日）
	[官民連携]	ワーケーションPJT 茅野市協働打合せ（24日）＊WEB
2021年		
01月	[官民連携]	ワーケーションPJT 茅野市協働打合せ（18日）＊WEB
	[官民連携]	鮫川村ワークショップ（22日）＊WEB
	[官民連携]	矢祭町古民家視察（23日）
	[官民連携]	矢祭おもてなし料理試食会（23日）
	[官民連携]	川崎市木材利用フォーラム作業部会（27日）＊WEB
	[セッション]	CSVビジネス創出分科会（19日）

2. 年間活動一覧

02月	[官民連携]	ワーケーションPJT 茅野市協働打合せ（1日）＊WEB
	[セッション]	第2回全体セッション 「資源循環社会を目指して ～サーキュラー・バイオエコノミー～」 （9日）＊WEB
	[官民連携]	鯨川村ワークショップ（22日）＊WEB
	[機構運営]	未来まちづくりフォーラム（24日）
	[官民連携]	川崎市木材利用フォーラム作業部会（26日）＊WEB
	[セッション]	CSVビジネス創出分科会（26日）
03月	[官民連携]	ワーケーションPJT 茅野市協働打合せ（3日）＊WEB
	[セッション]	第3回 全体セッション 「SDGs/ESG/CSV時代の新たな生きる力(教育)」 (9日) ＊WEB
	[機構運営]	理事会（9日）＊WEB
	[官民連携]	川崎市木材利用フォーラム行政部会（12日）＊WEB
	[官民連携]	川崎市 「国産木材活用セミナー」（15日）＊WEB
	[官民連携]	JR東日本xJR東日本企画x日本ユニシスx矢祭村合同会議（17日）
	[官民連携]	鯨川村ワークショップ（17日）＊WEB
	[セッション]	CSVビジネス創出分科会（22日）
	[官民連携]	ワーケーションPJT 茅野市協働打合せ（24日）＊WEB
	[官民連携]	大船渡陸上養殖プロジェクト（24日）＊WEB

3. 主要活動状況：全体セッション

今年からセッションの構成を2部構成とし、前半は現在進行形の国のビッグプロジェクトについて、そのキーマンをゲストスピーカーとして招聘、後半は会員企業のCSVビジネス創造の端緒を探るため、会員企業のCSVに関する取組みやシーズや課題などについての発表・情報共有を行うなど、ディスカッションの時間としました。

今年度はコロナ感染症感染対策の一環で0ZOOMを用いたリモート形式にて、3回開催しました。

○全体セッション テーマ/ゲストスピーカー/参加人数

森林を活用した新産業の シンボル事業創出 2020年8月6日(木)	「森林サービス産業の現状と展望」 木下 仁 様 (林野庁森林整備部森林利用課 山村・振興緑化推進室 室長) 「木材利用に関する取組の現状と展望」 長野 麻子様 (林野庁林政部木材利用課長)	17名
資源循環社会を目指して ～ゼロエミとサーキュラー・ バイオエコノミー～ 2021年2月9日(火)	「サーキュラーエコノミーの重要性と我が国の取組について」 土肥 英幸 様 (国立研究開発法人 NEDO 環境・化学ユニット ユニット長) 水無 渉 様 (" バイオエコノミーユニット ユニット長) 「サーキュラー・バイオエコノミー」 五十嵐 圭日子 様 (東京大学農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 准教授) 「日揮ホールディングス(株) サステナビリティ協創部 活動紹介」 小島 秀藏 様 (日揮ホールディングス(株) サステナビリティ協創部 活動オープンイノベーションチームリーダー)	33名
SDGs/ESG/CSV時代 における新たな生きる力 (教育)の取組み 2021年3月9日(火)	「未来を生きる子供たちへの新たな教育の取組」 浅野 大介 様 (経済産業省 経済産業省 サービス政策課長・教育産業室長) 「子供たちの生きる力を育むために 教育現場が産業界に求めるもの」 スピーカー： 澁澤 寿一 (当機構 顧問 / 世田谷区教育委員) 長谷部 直人様 (東京書籍株式会社 取締役 教育文化総轄本部長)	28名

第1回 「森林を活用した新産業のシンボル事業創出」

2020年8月6日(木) / 14:00-17:00 / ノムラストUDIO (乃村工芸社B1F)

講演1

「森林サービス産業の現状と展望」

木下 仁 様（林野庁森林利用課 山村振興・緑化推進室 室長）

講演2

「森林・林業分野における農林中央金庫の取組みについて」

長野 麻子 様（林野庁林政部 木材利用課 課長）

ワークショップ：2021年度モデル事業創出に向けて

会員企業プレゼンテーション

「ブルー・ブリッジ・パートナーズ株式会社」



第2回 「資源循環社会を目指してゼロエミッションとサーキュラー・バイオエコミー」

2021年2月9日(火) / 15:00-17:00 / WEB開催 (Zoom)

講演 1

「サーキュラーエコノミーの重要性と我が国の取り組みに関する内容」

土肥 英幸 様 (国立研究開発法人 NEDO 環境・化学ユニット ユニット長)

水無 渉 様 (" バイオエコノミーユニット ユニット長)

講演 2

「サーキュラー・バイオエコノミー」

五十嵐 圭日子 様 (東京大学農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 准教授)

会員企業プレゼンテーション

「日揮ホールディングス株式会社 サステナビリティ協創部 活動紹介」

小島 秀藏 様 (サステナビリティ協創部 活動オープンイノベーションチームリーダー)

第3回 「未来を生きる子供たちへの新たな教育の取組」

2021年3月9日(火) / 15:00-17:00 / WEB開催 (Zoom)

講演 1

「経済産業省『未来の教室』プロジェクト」

浅野 大介 様 (経済産業省 経済産業省 サービス政策課長・教育産業室長)

講演 2 (ディスカッション)

「子供たちの生きる力を育むために 教育現場が産業界に求めるもの」

スピーカー：澁澤 寿一 (当機構 顧問 / 世田谷区教育委員)

長谷部 直人様 (東京書籍株式会社 取締役 教育文化総轄本部長)

ファシリテート：石井 玲子 (当機構 事務局長)

3. 主要活動状況：分科会

セッション開催後の会員の意見も踏まえ、CSVビジネス創出の可能性検討を図る場として新規に立ち上げる分科会について、今年度は以下3つのテーマでの開催するとともに、現在進行形で事業化に向けた協議が行われている。

○分科会 テーマ／参画主体／展開・実証事業化の有無

森林活用分科会

「材」ならびに森林の「場」を活用した新たなビジネスモデルの姿と事業テーマについて協議を図る。

計4回開催 9/11～12/4

会員： 農林中央金庫、ヤマハ発動機、乃村工藝社、住友林業、大和リース、DGC、JTB、竹中工務店、ワイスワイス、SRC、電通、日本ユニシス、鈴三材木店、ニチハ、日揮

省庁： 林野庁

自治体： 静岡市、奥久慈流域活性化センター

実証事業化
鮫川村(福島県)

2分科会

CSVプロジェクト創出分科会

これからの時代の、暮らし、働き方、まち、社会のあるべき姿を描き、そこからバックキャストし、新たな経済とビジネスの姿を考える。

計2回開催 ※継続中 1/29～

会員： SRC、住友林業、大和リース、DGC、電通、ニチハ、日揮、乃村工藝社、ワイスワイス

省庁： 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部、林野庁森林整備部

ワーケーションプロジェクト

茅野市での連携を視野に入れ、目指すワーケーションの姿の共有と実証事業に向けた検討準備を行う。

計4回開催 ※継続中 12/24～

会員： JTB、DGC、電通

自治体： 茅野市産業経済部

サーキュラー・バイオエコノミー分科会

※立ち上げ準備中

会員： 日揮ホールディングス 他

① 森林活用分科会

第1回全体セッション「森林を活用した新産業のシンボル事業創出」において、会員協働によるビジネス共創の機運が出来上がり、プロジェクト創出に向けて分科会を開催していくこととなった。

第1回分科会：地域課題の共有・異業種コラボ 2020年9月11日

第2回分科会：地域選定・事業の具体化 2020年10月9日

第3回分科会：森林を活用した新産業のシンボル事業創出 2020年11月13日

第4回分科会：グリーンインフラ整備等を想定した産業創出 2020年12月4日



② CSVプロジェクト創出分科会(幸せ分科会(仮称)) ⇒ 森林分科会から派生

コロナを経て、現代社会が抱えてきた多くの課題が浮き彫りになり、従来の価値基準が180度変容するなか、今私たちが目指すべき持続可能な社会、経済、暮らしを実現する「まち」とはどのようなまちなのか、抜本的に見直し、共通認識を持つことで、はじめて課題を解決し得る「まち」の共創が実現すると考えました。

そのためにも、まずはコロナを経て求められる『新しい生き方・働き方』をバックキャストिंगによる発想に基づいてかたちにすべきであると考え、CSVプロジェクト創出分科会を立ち上げ、協議を行う運びとなりました。

議論内容に基づくレジューメはP16以降を参照ください。

第1回：これから求められる『生き方・働き方』の概略を共有 *ゲスト：藤山 浩氏

第2回：『個人』から『企業』『業界』の目線を加えて、新しい生き方・働き方を考える

第3回：新しい生き方・働き方の姿の共有・実証事業としての検討



第1回分科会：藤山さんをお迎えした会場風景

3. 主要活動状況：幸せ分科会 ⇒ これからのまちのあるべき姿(まとめ)

◎これから求めるべく地方創生の姿は経済の創生ではなく、社会を創生する取組であるべき。

◎経済的な豊かさだけを求めない、「未来の社会」「幸福」「生きがい」を皆で考え、実践する社会そのものが、目指すべきまちの姿。

従来の価値基準・考え	これから必要とする価値基準・考え
都市集中／中央統括システム	分散／一定規模の地域内自給・循環
大企業がマーケットを囲い込む経済	多様な主体による分散型経済
偏った資源の活用・無駄・廃棄	LCAに則ったものづくり 資源循環
化石燃料エネルギーによる社会	地域資源を活かした自然再生エネルギー社会(循環型社会)
お金による経済的価値観	共感・協働による価値観
年代集中 団地	多世代型 まち・集落
画一性 偏った／敵対	多様性／協働
団体自治	住民自治
学校で先生から学ぶ	場所を選ばず、先生と地域の人から学ぶ
一人／個	皆／チーム／組織／コミュニティ
占有する／独占する／もつともつと	共有する／シェア／協働 共感／必要な分だけ
やり方 Doing / How to	あり方 Being / Who is
職業を選択する／働くために、生きる	生き方を選択する／生きるために、働く
自世代のために	祖先・未来の世代のために
革新/今までにないものを創る	改善/今あるものを活かす
古きを壊し、新しきを造る	温故維新(古きを温め、新しきにつなぐ)
短期的／単発／イベント	長期的／連続／物語
古くなったら・不要になったら捨てる	経年変化を楽しむ／手入れして長く使う

共通キーワード ・一定規模の地域内自給・循環

(食料、水、エネルギー、福祉、教育、医療、文化、安全、交通、金融)

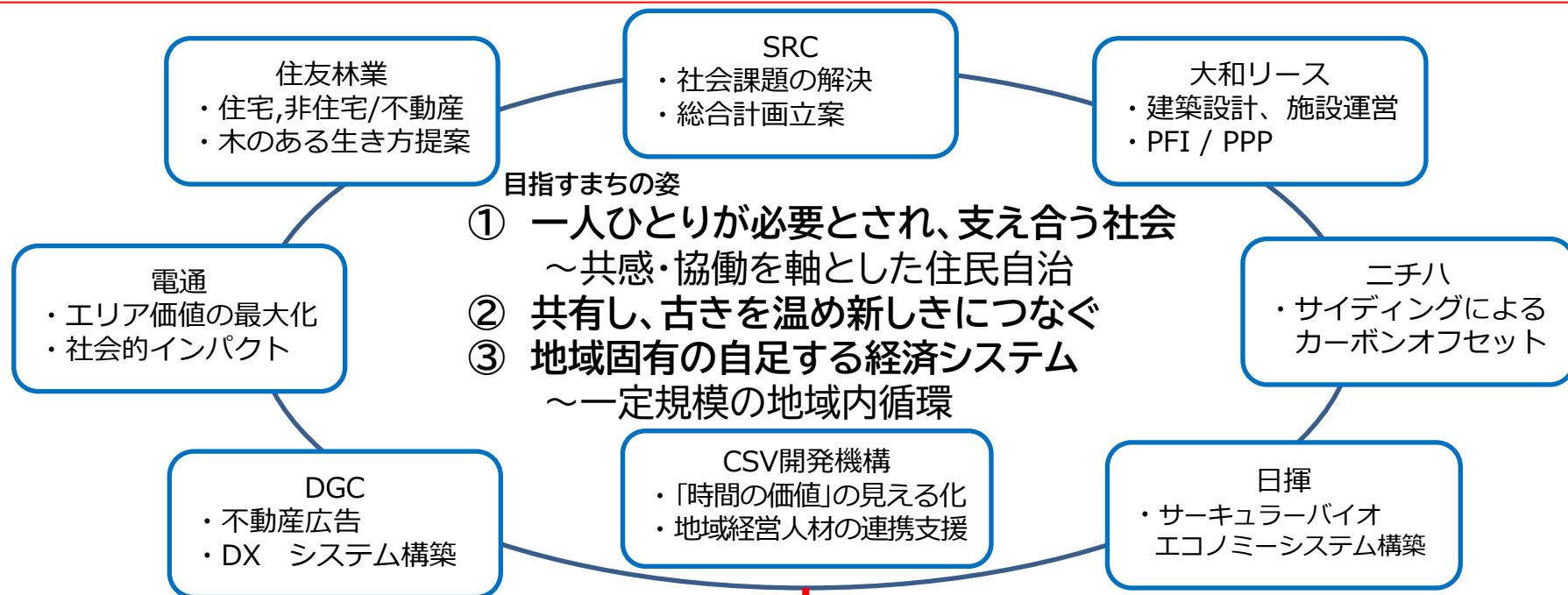
・まち全体で次世代を育てる

・不動産の活用(空き家／団地・マンション／別荘地)・顔の見える関係性・規模感

・素材としての木の有用性

・データによる暮らしやすさ DX

3. 主要活動状況：幸せ分科会 ⇒ 次年度以降の実証事業テーマ



実証事業の主要テーマ
候補地

テーマ1： 新たな不動産(空き家)活用

- ・フロービジネスからストックビジネスへ
- ・ワーケーションを切口とした地方創生

《候補自治体》

- ・茅野市 他長野県内市区町村

テーマ2： 1次産業のイノベーション

- ・域内循環と域外循環の仕組み構築
- ・木材利用促進本部との連携

《候補自治体》

- ・新潟県 農業
- ・浜松市(+川崎市) 林業
- ・大船渡市 水産業

テーマ3： サーキュラー バイオエコノミー

- ・脱炭素
- ・エネルギーの地産地消
- ・地域経済循環

《候補自治体》

- ・青森県

テーマ4： 多様性ある人財育成

- ・地方創生SDGs人材
- ・地域経営人材の育成
- ・地場中小企業の活性化
- ・児童～青年への仕事観醸成、生きる力教育

《候補自治体》

・・・

1 実証事業の準備

資金調達：企業版ふるさと納税の活用(内閣府に確認中) 他
候補自治体との選定、調整

2 CSV開発機構独自の「地域カルテ」の策定

『千年続くまち』という観点から地域資源をはじめとする様々な要素を評価、
顕彰する指標・評価基準をつくる

3 市民が考える幸せの基準に対するアンケート調査

SRCに協力、調査内容を検討中 一対比較法によるweb調査／対象1,100人以上
会員企業の従業員へのアンケート協力、市民を対象

3. 主要活動状況：分科会 ⇒ ワークেশンプロジェクト

③ ワークেশンプロジェクト ⇒ 森林分科会から派生

国土の7割を占める森林。新たな森林活用の1つに森林サービス産業としての「場」の活用があります。

コロナがもたらした『新しい生き方・働き方』としてワークেশンがあります。単に新たな就業場所として地方をとらえるだけ、地域住民との関りや、相互にメリットをもたらす関係をどのように築くか、またそれによって新しい経済循環が生まれるか等、まったく新しい価値基準に基づく「まち」のあり方をワークেশンを通じて検討しています。

議論内容に基づくレジュメはP19以降を参照ください。

第1回：12月24日

第2回：1月18日

第3回：2月1日

第4回：3月3日

第5回：3月24日

目的：ワーケーションを契機とした企業誘致／サテライトオフィスの開設

想定ターゲット： ①都心にオフィスを構える大企業
②企業内従業員(個人)のファミリー層

都心にオフィスを
構える企業

自然・アクティビ
ティに興味を持つ
オフィスワーカー

オフィスワーカーの
ファミリー

ワーケーション導入意欲がある
または親和性の高い
都心企業

茅野が保有する
イメージ・コンテンツと
親和性が高いオフィスワーカー

対象とするオフィスワーカーの
家族に対してもターゲット

上記ターゲットの中で、これまで茅野市が中長期的に交流人口・移住促進に取り組んできた過程を鑑み、

子どもの「コト」教育に熱心な世代（ファミリー層）にもアプローチしていく

WORK

- ・茅野市で展開するビジネスがある
- ・ワーケーション参画企業と地元企業との交流を介し、参加者がビジネスの「種」をもちかえることができる

VACATION

- ・子供を安心して預けられる
- ・学校では得られない学び・遊びの機会がある
- ・日常では味わえない、『茅野』ならではの特別な時間を過ごすことができる



茅野市ならではのコンテンツ(リソース・強み)



コンテンツの魅力向上・強化

(地元企業・茅野市・市民団体＋CSV開発機構＋会員企業群の協創により開発)

WORK目線での各種環境整備状況			
ひと	多様な交流相手の確保	地元住民・企業・行政・学校(諏訪東京理科大学・高校等)とのネットワーク・マッチング機能を有する主体の有無	
	交流手法の確立	各種手法の企画立案運営を行う主体の存在 交流イベントコンテンツ(登山など)/親睦会/ワークショップ/オンラインコミュニティ等	
もの	働くための拠点	・ワークラボの整備状況 ・宿泊施設の専用プランの有無 ・別荘の活用・空き家、空き店舗情報等の情報の一元化状況	
	もののマッチング	・課題の可視化のための現状の取組状況 ・地元サプライヤーとのマッチングシステム等	
かね	起業支援	自治体の基金設立、支援金制度導入に対する整備状況 優遇税制(創業減税など)/オフィス移転補助	
VACATION目線での各種環境整備状況			
ひと	子供の遊び場	(未就学児)託児所/赤ちゃんラウンジ (就学児)放課後プログラム 左記の整備・運用状況	
	子供の学び場	・オリジナルスクール/デュアルスクール/オンラインシステム等の整備・運用状況 ・教育付加価値サービスおよび教育補完サービス等の整備運用状況	
もの	サービス拠点	・コンシェルジュサービス拡充 各種手配/相談窓口	
	居住・宿泊場所	・別荘の活用、マッチング	
	生活面の各種サービス	食事場所 地元レストラン/食堂/地元食材提供、宅配 生活サービス ランドリー/宅配物や郵便物の受け取り 移動手段 親2名分、二次交通の整備・運用状況	
	体験プログラム	(観光・体験・温泉)、食文化等コンテンツの整理 既存のプログラム運営状況・運営主体・インストラクター者数	
かね	費用サポート	交通費、宿泊費等への支援金導入制度の整備状況	

川崎市：川崎市内の木材利用促進・普及啓発（川崎市木材利用促進フォーラム事務局運営受託）

①DGコミュニケーションズ様 （カタルジャパン様）

川崎市内店舗に木製品を展示しECサイトから購入できるシステム『カタルスペース』を新たに導入。販路開拓を望む川上木材メーカーと在庫リスクを持ちたくない店舗のWin-Winが実現。

5月10日付でカタルジャパンからプレスリリース。



川崎市：川崎市内の木材利用促進・普及啓発（川崎市木材利用促進フォーラム事務局運営受託）

②大和リース様

川崎信用金庫様百合丘支店で、ロビー部分に国産材を使用した什器や内装パネルの設置。

元々は通常の待合ロビーになる予定だったが、補助金の利用に関する案内と提案を行った結果補助金の申請、採択に至り、木製什器の設置が実現した。



川崎市：川崎市内の木材利用促進・普及啓発（川崎市木材利用促進フォーラム事務局運営受託）

森の恵みに出会う旅in小田原：11月14日
自然に親しむ機会のない川崎市民に対して、小田原市の森林を通して、森林(木材)の良さを感じていただく。
県内関係人口創出事業として小田原市との協働事業。



紀州材産地見学会：11月19日～20日
川崎市内の建築会社や設計士に対して、木材活用の必要性を感じていただくとともに、林産地(川上)と川下の商流を創出し、川崎市内の木造木質化を推進する。
和歌山県との協働事業。



矢祭町：まちなかコミュニティ力向上事業

①日本ユニシス様：

矢祭町とKITTEを中継で結び、酒蔵見学、農産品収穫体験を実施。コロナ禍のため蜜を避けた対応をしたなか、1500名が来場、異例の集客とKITTEからも評価いただく。

次年度は単なる収穫体験だけではなく、商流創出・販路拡大を行い、販売に結び付ける。

②JR東日本企画様／JR東日本水戸支社様／日本ユニシス様

アフターコロナ後の人流創出を目指した事業協働として、「子ども」「食」をキーワードに、ITを活用したリアルとバーチャルを融合した取り組みについてJV実施。
次年度に向け、3月17日(水)に町長に向けて合同プレゼンを実施。

2021年度事業として受託。

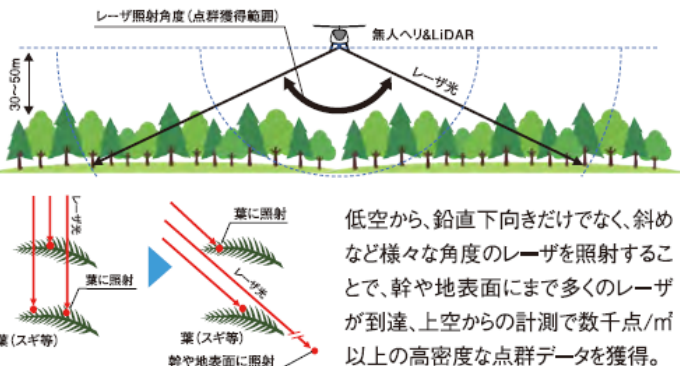


福島県鮫川村：森林計測を入口にした活性化施策 ～林産資源を活用した鮫川村活性化～

①ヤマハ発動機様

無人ヘリを活用した森林計測を事業化。
計測データを活かした、森林価値の可視化や需給マッチング、林産資材を活用した地域活性化に向けた実証事業を実施。

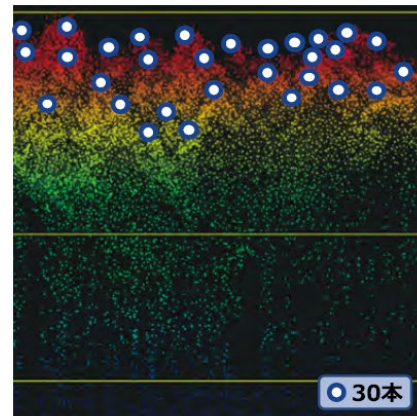
並行して1月から3回にわたり鮫川村民と林産資源を活用したまちづくりワークショップを実施。次年度以降の総合計画反映に向けて協議中。



低空から、鉛直下向きだけでなく、斜めなど様々な角度のレーザーを照射することで、幹や地表面にまで多くのレーザーが到達、上空からの計測で数千点/m²以上の高密度な点群データを獲得。

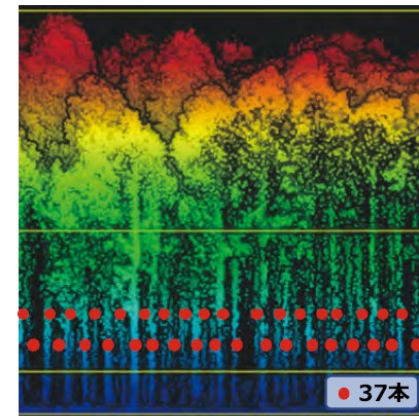
■同一森林に対する計測手法による点群データ比較

▼従来のドローン計測による点群データ

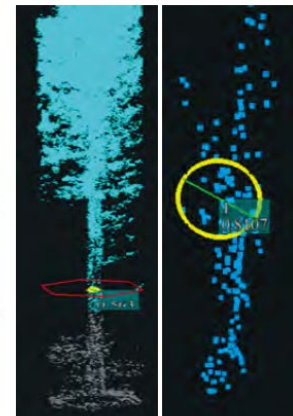


約100点/m²の従来手法の計測では、幹や地表面に多くの点群を獲得することが難しい。樹頂点で立木を識別するため、本数、位置ともに誤差が大きくなる。

▼ヤマハ発動機の無人ヘリ計測による点群データ



約3,000点/m²の高密度な計測により、幹や地表面にも多くの点群を獲得。幹を捕捉し立木を識別するため、本数、位置ともに精度の高い結果が得られる。



幹や地表面の高密度な点群データから、単木ごとの樹幹を捉えられるため、胸高直径の算出も可能となる。

大船渡市：海と都市(地域)の新しいデザイン 陸上養殖の事業可能性調査

2021年度事業の方向性

①陸上養殖の現状及び事業化可能性調査業務

- ・ 国内の陸上養殖の現状 / 陸上養殖の種類と国内の動向 / MSC認証に関する調査
- ・ 国内の養殖業成長産業化に向けた取組事例紹介
- ・ 陸上養殖の事業化の可能性 / 課題の掘起し / 事業化の可能性

②水産業を基軸としたSDGsまちづくりの可能性調査業務

- ・ 大船渡市の水産業(加工・流通等、周辺産業)の現状
- ・ 地元水産関係企業の意識調査

③大船渡市における陸上養殖事業の可能性調査業務

- ・ 陸上養殖事業の展開に求められる視点
- ・ 大船渡市での陸上養殖事業の方向性 / 拠点開発

④今後の大企業における地方創生ビジネスへの展開

- ・ 地方創生に資するまちの目指すべき姿
- ・ 大企業の地域創生ビジネスの在り方
- ・ 事業ドメインをいかした地方創生へのご提案
- ・ ビジネス基盤(競争優位)の確立